

令和8年度予算



山藤陽子

- ①次世代を見据えた持続可能なまちづくりのために必要な予算である。
- ②防災教育・訓練事業
- ③令和8年3月改定された富士宮市総合防災マップ。新しい防災情報が満載。見やすく、わかりやすく解説されている。



稲葉晃司

- ①ハード部門の予算がかさんだ結果、一般会計は潜在的に500億強くらいか。
- ②高齢者団体等親睦会補助金
- ③市内に住む65歳以上の会員が3名以上の団体を対象に一人当たり3000円を上限に年一回親睦会費を補助する。



白井由紀子

- ①将来負担を見据え、立ち止まる視点も市民のために大切と考える必要がある。
- ②高齢者つながり・生きがい創出事業
- ③敬老会事業を見直し。自治会の負担軽減を図り、高齢者の居場所や生きがいづくりのための機会を創出する事業。



岩村恵美

- ①621億円予算、使い道の透明性とその効果が問われる。
- ②産後ケア・5歳児健康診査
- ③家事支援サービスの利用時間を拡大し、5歳児健診で早期に必要な支援につなげる体制を強化。

富士宮、過去最大621億円
予算に挑む！



小松快造

- ①過去最高額の予算、市民生活がどのように向上するのか期待する。
- ②担い手育成総合支援事業
- ③持続可能な農業を進めるためには人材育成と設備投資は不可欠である。少子高齢化が進む中、農業政策に期待する。



辻村岳瑠

- ①数字の大きさより、市民の実感に届く使われ方をしているか。それだけを見る。
- ②重層的支援体制整備事業
- ③介護・障害・貧困・孤立——複数の問題を抱えた市民を、制度の狭間に落とさず丸ごと支える体制を整える。



芦澤秀典

- ①規模の大きさに驚き、将来を見据えた重要な一歩となる予算だと思った。
- ②小中学校屋内運動場空調設備設置事業
- ③小中学校の屋内運動場にエアコンを整備し、猛暑時の学習環境の改善と避難所機能の強化を図る事業。



佐野寿夫

- ①物価高に対応し市民の期待に応えるには必要な予算額であり責任を痛感する。
- ②5歳児健康診査
- ③小学校就学前の5歳児の発達を総合確認し早期支援へつなげていく。富士宮市の次世代を担う宝への投資事業。